

# 大分寺婦

## 第22号

発行

大分教区  
寺族婦人会連盟

〒874-0920

別府市北浜3丁目6-36

本願寺別府別院内

TEL 0977-22-0146

### 一泊研修総会

去る六月十日、四日市別院において一泊研修会が開催されました。

二年に一度の一泊研修会は周知の通りですが、本年も約90名の参加をいただき、ご講師に安方先生をお招きして「現世利益」についてお話ししていたきました。

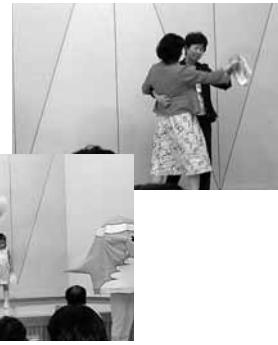
浄土真宗の現世利益は少し捉え方がちがいます。

- \* 如来の恩を知り、その徳に報謝する
- \* 常に如来の大いなる慈悲を広める
- \* 仏がたに護られる
- \* 罪悪が転じて善となる



講話

など、自分一人で生きてきたと思っていたら、実は何時も阿弥陀如来が居て下さったのだと気づき、どのような形で人生を終えようとも私は必ず仏にしていたたく、という利益であると言うのです。このように私たちに語りかけるように、京都弁で優しく、またハツキリとした口調でお話していただきました。



夕食懇親会

どこか初めてお会いしたとは思えないような、親しみをも感じさせる先生のお人柄に触れさせていただけた、良いご法縁となりました。

引き続き「宇佐かんぼの郷」にての懇親会、宇佐組の皆さんが中心になって、カラオケあり、ダンスあり、「めじろん」まで登場しての大宴会となりました。

新教務所長にもご参加いただき、ご挨拶の後、カラオケで自慢の一曲をご披露していただきました。

ご講師の先生と楽しく談笑されておられたり、周りの方

ともきさくにお話されている姿が、とても印象的でした。来年度は、別府での研修会です。

### ご挨拶

副委員長

原 スマ子

教区の副委員長として、たくさんの方々と出逢い、またいろんな問題に対して一生懸命に取り組んでおられる寺族婦人の方を目の当たりにしてほんとうに勉強になりました。これをご縁にまた教区の行事などに積極的に参加させていただけようと思っております。ありがとうございます。

副委員長

武田かをり子

早いもので二年が過ぎました。折角のご縁を頂き、何かお手伝いをすると思えばかり、ただ年だけは重ねました。ともに楽しく有意義な時間を、いただきたきありがとうございます。お世話になりました。

豊後高田組

初めての試みで：仏教賛歌を歌う

仏教賛歌を歌いたい、仏教賛歌をより多くの方々に伝えたいという思いから始まりました。組内にご講師(西生寺坊守)がおられるので早速、組内の住職・坊守が集まり、仏教賛歌の旋律やハーモニーの美しさを感じながら「さんだんのうた」「アソカの園」「芬陀利華」などを歌いました。



「仏教にはこんなすばらしい賛歌があったのね」と改めて思いました。



合唱で声を合わせ聴きなが

ら、どこかお聴聞と重なるところがあのようにも感じ、大変ありがたく感謝いたしました。



組長はじめ、住職・坊守共に、今後もこの活動が長く続き、仏教賛歌を歌い継いでいきたいと思ひ、次回開催に向けて頑張っています。



三組合同婦人の集い

下毛中組・中津組・耶馬溪組

三組合同婦人の集いの始まり

今から十二年前頃は、教区内各組で仏教連盟の総会など大きな行事が行われておらず、大分教区仏教婦人



手話とコーラス

連盟の提案により、一組では無理でも何組かが集まれば何かができるのではないかと、教区内を五つのブロックに分けて研修会を行うようにという意見が出されました。そして中津組・下毛中組・耶馬溪組の三組で一つのブロックを結成し、第一回目を中津組の光専寺で開催しました。

講師は自組ではなくて隣の組の組長がするようにしました。中津組は下毛中がし、耶馬溪組は中津がし、下毛中組は耶馬溪がするようになりしました。今は講師は各組のどなたでもが行うようになっているようです。

速見組

寺族婦人会の活動について

二年に一度、一泊研修として本山に参拝し、別院や蓮如上人ゆかりの寺院にも参拝しています。昨年は滋賀県堅田の本福寺に参拝させていただき、登山名号(十字名号)を拝観いたしました。大変印象深く心に残っています。



本山に上らない年は、懇親会を兼ねて近県の別院や寺院めぐりをしています。今年はお湯布院の寺院で精進料理の会食会をしました。寺婦の勉強会として二ヶ月に一度、会所寺院の御院家さんにご法話をいただきました。今年度は、御門主様の著書「世の中

安穏なれ」を繰り返し読み、皆さんと意見交換をしています。

その他、坊守ならではの悩みや、自坊での出来事等を話し合ったりして、楽しい時間を過ごしています。



一泊研修旅行

この度は下毛中組の当番に当たり、話し合いの結果「金子みすず」の歌を歌うことに決まりました。

先生にお願いして長久寺本堂をお借りして、三回の練習会をさせていただきました。

先生の親切丁寧かつ熱心なご指導を受け、私たち一同は当日に向けて、懸命に練習に取り組みました。

参詣された皆さんに「是非覚えて帰っていただきたい」「金子みすずのやさしい心を伝えていただけたらなあ」と言う思いで、心を込めて歌わせていただきました。

当日は、210名もの参加をいただき、先生のご指導の下で、手話を交えながら楽しく歌わせていただきました。ご講師の、耶馬溪組井上先

生のお話にもすっかり引き込まれ、あつと言う間に研修会は終了いたしました。

三組合同仏婦研修会も十二回を重ね、三年に一度の組のお引き受けであります。今回大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



講話

お知らせ

◆◆ 研修旅行 ◆◆

期 日：2009(平成21)年  
6月30日(火)～7月2日(木)

旅行先：北海道  
(札幌・小樽別院、旭山動物園、  
富良野・麓郷の森等)

詳しくは、4月上旬ご案内をいたしますので  
ご予約ください。  
4年に一度の研修旅行  
ですので、大勢で参り  
ましょう。



お内仏報恩講のご案内

日 時：二〇〇九(平成二十一)年二月五日(木)  
十時四十五分～受付  
場 所：本願寺別府別院「会館お内仏」(二階)  
講 師：蓮谷啓介先生(大海組・妙蓮寺副住職)

おくやみ

平成二十年は左記の方がご  
逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げま  
す。

○長 松 幸 子 (97歳)

日 田 組 教栄寺 前坊守

平成二十年一月三日

○大 畑 玲 子 (78歳)

豊後高田組 栄法寺 前坊守

平成二十年一月六日

○安 倍 キ ミ (88歳)

宇佐組 願成寺 前坊守

平成二十年二月二日

○印 山 曜 子 (88歳)

中津組 願慶寺 前坊守

平成二十年三月二日

○佐之瀬 香恵子 (76歳)

日 田 組 福正寺 前坊守

平成二十年五月二十一日

○岐 部 三保子 (61歳)

国東中組 常念寺 坊 守

平成二十年十月五日

○岸 ミヤコ (88歳)

大海組 誓岸寺 前坊守

平成二十年十一月一日

○杉 本 美津子 (91歳)

速見組 専教寺 前坊守

平成二十年十二月十五日

あ と が き

早いもので時節は「師走」…。  
今年是一年中「師走」であつ  
たかのような速さで過ぎて行  
きました。

「後、二年かあ」と長く感  
じた編集委員も、過ぎてしま  
えば「たった二年」でした。  
今回共に編集に関わって頂  
いた皆様、唐突な取材や原稿  
依頼にも応じて下さった皆様  
本当にありがとうございます。

これからも共に寺婦の活動  
に、法務に励みましょう。